小児等在宅医療推進事業の区市町村における取組　モデル図

資料　4

医療の状況	入院中	退院	地域（就学前）	就学	地域（就学後）

必要な支援

☆在宅への円滑な移行支援（㉗、㉛、㉝）

病院の取組

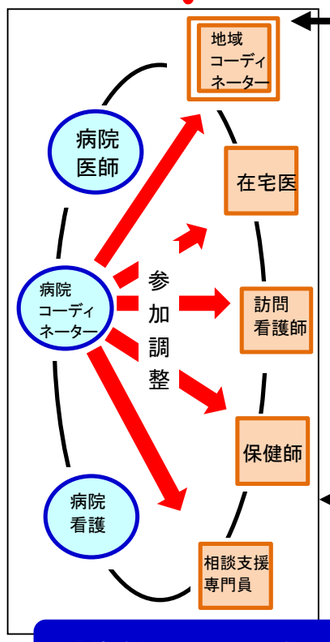
【参考】都の取組
- ○ NICU入院児支援ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ、
- ○ 退院支援ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ
  - ・担当職種：看護師、MSW
  - ・役割：
    - ①支援対象者の把握
    - ②退院支援計画の作成等、退院に向けた調整
    - ③病院及び地域の関係多職種との連絡調整
    - ④家族に対しての医療的ケア指導、相談、助言
    - ⑤退院前、退院後カンファレンスの実施

病院と地域が連携し、入院時から支援対象者の情報共有を行う。

地域資源について情報提供を行う。

地域の取組

取組例：
- ○ 入院時からの対象者の把握



退院前カンファレンス（例）

地域の取組

取組例：
- ○ 病院との連携

☆在宅生活の支援（医療・福祉・教育分野）（⑦、⑨、⑪、⑭、⑳、㉑、㉒、㉖、㉗）

地域の取組

取組例：
- ○ **地域のｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの設置**（※1）
  - ・設置方法：保健師が対応、訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝや相談支援事業所に委託　等
  - ・担当職種：看護師、保健師、相談支援専門員 等
  - ・役割：患者とその家族に対して個別支援を行う。
    - ①患者とその家族の生活に寄り添い、病状やライフステージに合わせた適切な支援の調整、在宅生活に関する※2相談対応
    - ②患者の在宅生活支援に必要な関係多職種（医療・福祉・教育）間の連携・情報共有
    - ③患者の入院時からの、病院内のｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰと連携した円滑な在宅移行支援
    - ④地域資源の把握・活用

※2　相談対応・・・例）医療的ケアについて、家族の不安について、兄弟姉妹の育児について、地域資源の情報について、保育・教育について　等

☆ 情 報 提 供（⑭、⑮、㉑）

地域の取組

取組例：
- ○ **相談窓口の設置**（※1）
  - ・担当職種：看護師、保健師、相談支援専門員 等
  - ・相談対象者：小児等在宅医療に係る関係多職種（ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ含む）
  - ・役割：小児等在宅医療に係る相談、調整等に対応する。
    - ① 病状変化時等における後方支援病床への入院調整
    - ② 在宅生活への円滑な移行に向けた調整
    - ③ 在宅医、訪問看護師等の紹介
    - ④ 小児等在宅医療に係る関係多職種（医療・福祉・教育）からの相談への対応
    - ⑤ 地域資源の把握・活用

※1　地域の実情に応じて、ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰのみ、又は相談窓口のみを設置し、双方の役割を兼ねることもある。

☆ 家 族 支 援（⑫ ～ ⑱、㉓、㉕）

地域の取組　取組例：○ **レスパイト病床の確保**

【参考】都の取組：○ **在宅療養児一時受入支援事業**
○ **ショートステイ事業（重症心身障害児）**

☆成長・発達に関する支援（②、⑥、㉔、㉕）

☆教育に関する支援（③、④、⑤、⑧）

基盤整備

☆小児等在宅医療の対象となる児の実態、地域の医療・福祉・教育等資源の把握（㉛）

地域の取組　取組例：○ **対象者の把握**　○ **地域の医療・福祉・教育等資源の把握**

☆小児等在宅医療を担う医師、看護師、コーディネーター等、人材の確保・育成（⑲、⑳）

地域の取組　取組例：○ **研修（座学、実技、現場見学・実習）**　○ **小児等在宅医療への参入促進**

【参考】都の取組：○ **小児等在宅移行研修事業**　○ **医療的ケア児等支援者育成研修**

☆在宅医療に関する課題の把握、施策展開、顔の見える関係の構築（㉗、㉜）

地域の取組　取組例：○ **検討の場の設置**　○ **多職種連携体制の構築**